

] î0 5r •  
KAWASAKI STEEL GIHO  
Vol.3 (1971) No.1

---

9x™ " Å î° b5 #Ø d 2 (K-S d 2)

Mass Product Method of Multi-Storied Apartment Houses(K-S Construction Method)

,¶5 ,e " (Hideya Ogino) £ • (Shunichi Yamaguchi) •#ã U S (Michitaka  
Yoshida) W Q

# 高層アパートの量産工法 (K-S 工法)

Mass Product Method of Multi-Storied Apartment Houses

(K-S Construction Method)

って、これを地震の多いわが国の高層アパートに適用するにはPC版の接合部に問題があるので、プレハブアパートの高層化は鉄骨を主体とした工法によって行なわれることはまず間違いないであろう。

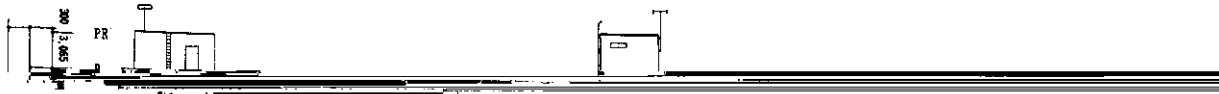
われわれはこれらの社会的環境を勘案するとよ

コンクリートで耐火被覆を行なうものである。また桁行方向の梁にも鉄骨の梁を用いているが外壁と一体にしてPC版に埋込みとしている。

K-S工法の特長として主なものをまとめると次のようなことがあげられる。

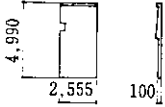

(1) 梁間方向は可撓性を利用した外壁部

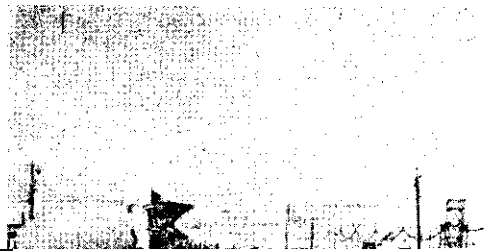




1000

表 3 PC 部材リスト

部材名	形	状	重量 (t)	数量	備考
一般階 スラブ (北側)	4,990		3.36	308	逆対称を 含む
一般階	130				逆対称を 含む









建方精度に最も大きく影響する要因として次の2 であり、戸境壁は1～7通りは図上で右側、8～

3階の梁の上フランジと4階の梁の下フランジの溶接

